

オイル・燃料の管理指導指針

1 オイル・燃料の管理指針

作業現場で燃料等の油類が漏出した場合、水資源をはじめ土壌、生物生態系等への影響が大きいことから、オイル・燃料等の油類の取扱・保管は慎重に行う。

2 オイル・燃料の選定

- (1) オイルや燃料は用途に応じ、適正なものを使用する。
- (2) 可能な限り環境に負荷の少ない植物性や生分解性オイル等の導入を検討する。

3 油類の作業現場での保管および方法

- (1) オイルや燃料は専用の容器以外に入れない。
- (2) 保管場所は平坦な場所とし、容器が雨に濡れない対策をとる。
- (3) 保管期間は作業を実施期間内とする。

4 漏出対策

- (1) チェーンソー・刈払機に給油する場合は油類が漏れないように注意する。
- (2) 給油後は機械の燃料キャップの閉め忘れが無いか確認する。

5 安全対策

- (1) 保管場所付近では火気を使用しない。
- (2) 給油中は必ずエンジンを止め、火気に十分注意する。

6 油類・及びオイルの廃棄について

使用後の空き缶等は必ず持ち帰る。

7 その他

- (1) 関係法令及び財団「危険物等管理保管要綱」を遵守する。
- (2) 委託先に対し、当指針に基づく管理、使用の徹底を周知、指導する。